

インテック

住商情報システムとERPパッケージ「ProActive E²」のビジネスパートナー契約を締結

インテックは、住商情報システムが開発した中堅企業向けERPパッケージ「ProActive E² (プロアクティブ イーツー)」に関する「ビジネスパートナー契約」を締結した。

インテックは、10数年にわたる数多くのERPパッケージの導入実績やノウハウを保有している。その強みを生かし、さらなるビジネスの強化・拡大に向け、会計から販売管理までの基幹業務を広くカバーし、お客さま業務との適合率が高く、グループ企業においても統合業務基盤になり得るERPパッケージ「ProActive E²」のビジネスパートナー契約締結に至った。

5月22日には、東京ミッドタウンで内部統制に関する共同のセミナーを開催し、ProActiveやその関連ソリューションを紹介した。今後も、セミナーやインターネットでのプロモーション活動などを通して販売を推進していく。

お問い合わせ先：
インテック ビジネスプロダクトソリューション部
TEL:(03)6665-5140

インテック・ネットコア

独自のクラウドコンピューティング技術を開発

インテック・ネットコアは、クラウドコンピューティング技術を応用し、企業などが自組織内で利用できる「プライベートクラウド」の技術を独自に開発した。

この技術により、企業は自社システムを構築する際に、自組織内に性能、信頼性および拡張性に優れたアプリケーション基盤を構築することが可能になる。また、高度な分散コンピューティング技術により、廉価な汎用IAサーバ、汎用通信機器(ルータ、スイッチ)を用いてプライベートクラウドを構築することも可能になるため、大規模で複雑な専用システムを構築する場合と比較して、大幅なコスト削減を実現する。

5月、プライベートクラウド構築ソリューションの第一弾として、クラウド型のストレージシステムを構築するソフトウェアの提供を開始した。当ソフトウェアを搭載した、ストレージソリューションの特長は、次のとおり。

- 1 性能：並列処理による圧倒的なアクセス性能を実現
- 2 信頼性：多重度(データの冗長度)による柔軟な信頼性向上の設定が可能
- 3 拡張性：容量、性能とも機器の増設だけでスケールアウト可能
- 4 運用性：プラグアンドプレイ、障害の自動切り離しなど、容易な保守・運用を実現

インテック・ネットコアでは、さらに研究開発を進め、今後もクラウドコンピューティングに関わる新しい機能を順次提供していく。

クラウドコンピューティング技術：
インターネット上のサービスを実現する基盤技術として開発され、ネットワーク上で提供される、多数のコンピューティングリソースを統合して大規模で拡張性の高いアプリケーション基盤を実現する技術として注目されている。

お問い合わせ先：インテック・ネットコア TEL:(03)6665-5069

インテック

北陸新幹線新駅に隣接するITステーション着工

インテックは6月8日、富山県高岡市に建設する「インテック高岡ビル(仮称)」の起工式を行った。

建設場所は、北陸新幹線新高岡駅から徒歩5分の好立地で、竣工は、2010年8月の予定。高岡市が開町して400年、北陸新幹線の開業に向けて新たな街づくりが進むなか、インテックは高岡センター開設40年を迎え、この節目に新たな開発・サービスの拠点となる先進のITステーションを建設する。

高岡は、慶長14年(1609年)加賀藩二代藩主前田利長公によって開かれ、今年400年を迎える。

お問い合わせ先：インテック 総務部 TEL:(076)444-8001



インテック

北国インテックサービス

トータル生産システムの拡販において澁谷工業と協業

澁谷工業とインテックおよび北国インテックサービスは、各社のシステムを組み合わせ、トータルな生産システムを提供できるよう、それぞれ保有するシステムの拡販について2月より協業を開始した。

製薬、化粧品、日用雑貨業界は、製造段階に使用するコンピュータシステムの信頼性の確保を示した「コンピュータ化システムバリデーションガイドライン」(厚労省CSV指針)への対応が急務となっている。各社のシステムを合わせたトータルな生産システムは、CSVにかかるお客さまの作業量を大幅に軽減し、短期間・低コストでの生産システム構築を可能とする。

澁谷工業が提供する プロダクション管理システム	パッケージラインにおいて、生産計画と生産実績の情報を製造設備までシームレスに展開・収集し、工程間制御まで行うソリューション
インテックおよび 北国インテックサービスが 提供する生産管理システム	東洋ビジネスエンジニアリング社の製薬業界向け生産・販売・物流統合テンプレート「MCFrame/Pharma」を利用したソリューション



2月27日東京会場(インテック本社ビル) 3月12日大阪会場(インテック大阪ビル)

お問い合わせ先：インテック 北陸地区本部 TEL:(076)444-8080

インテック

TSUBASA(翼)プロジェクト加盟行とF³(エフキューブ)の次期バージョンの共同開発で合意

インテックは、「TSUBASA(翼)プロジェクト」の加盟行である千葉銀行、第四銀行、北国銀行、中国銀行および伊予銀行と、インテックの金融機関向けCRM(顧客情報管理)システム「F³(エフキューブ)」の次期バージョン(通称：次世代エフキューブ)の共同開発で合意した。

「TSUBASA(翼)プロジェクト」は平成20年3月、上記5行がサブシステム先行方式でシステム共同化について検討していくことを合意し、スタートされた。インテックは、プロジェクト加盟行の営業推進や顧客管理、行動管理などにおける業務ノウハウを集約し、次世代エフキューブの業務効率化とサービス向上を図る。また、最新のDB技術やRIA(リッチ・インターネット・アプリケーション)技術などを適用し、Webの操作性を向上する。

次世代エフキューブは2009年12月を目途に販売を予定している。

お問い合わせ先：インテック 金融ソリューション事業推進部 TEL:(045)451-2424

インテック

JX手順対応の各社通信パッケージの相互接続テストに協力

インテックは、2008年10月からITソリューションベンダー7社が実施したJX手順対応のインターネットEDI(企業間電子データ交換)パッケージ相互間の接続性を確認するテストに対し、流通BMS対応電子証明書発行サービス「EINS/PKI+ for EDI(アインスピーケイアイ プラス フォー イーディーアイ)」の証明書を提供した。

テストは3月に終了し、各社製品が「EINS/PKI+ for EDI」の発行した証明書を利用した安全なデータ通信環境で、問題なく接続できることが確認されている。

ITソリューションベンダー	ウルシステムズ、 ウインキュラム ジャパン、 エス・エフ・アイ、 エヌアイシー・インフォレド、 キャンノITソリューションズ、 データ・アプリケーション、 日立製作所
協力企業	インテック、 富士通エフ・アイ・ビー

(五十音順)

1 JX手順：
日本で策定されたサーバクライアント型のインターネットEDI用通信プロトコル。流通BMS対応の受注端末型製品で多く採用されている。

2 流通BMS(流通ビジネスメッセージ標準)：
大手総合小売業や食品スーパーが中心となって策定したEDIの規格。2008年4月にバージョン1.1が公開されている。

お問い合わせ先：
インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398

インテックアメニティ

「カターレ敵なし」でチーム応援

インテックアメニティは、ITホールディングスやインテックグループが運営に協力しているサッカーJリーグ2部(J2)の「カターレ富山」を応援するため、富山市呉羽地区で栽培している梨「幸水」を「カターレ敵なし(梨)」と名付け販売する。

「カターレ敵なし」の販売は今年で2年目。昨年好評だったうえ、サッカー関係者からの要望もあり、今年も引き続き販売する。8月中旬より販売を開始し、売り上げの一部は「カターレ富山」に寄付される。

高齢化や後継者不足で生産者のいなくなった梨畑の栽培を請け負い、今年度は昨年の3倍の生産量を見込む。今後も栽培面積を逐次拡大していく計画である。

お問い合わせ先:インテックアメニティ 植栽課 TEL:(076)433-7059

インテック

ID管理ソリューション「結人(ゆいと)」「東人(そくと)」にログオプションを追加

インテックは、企業内のさまざまなシステムのID情報を一元管理するID管理ソリューション(以下、IDMソリューション)の「結人(ゆいと)」「東人(そくと)」に、IDM関連のログを統合管理するためのオプション製品「ログオプション」を追加し、4月より提供を開始した。

「ログオプション」機能は、各システムのログを横断して検索し、「いつ・誰が・どのようなID情報を登録・変更・削除したのか」の確認を容易にする。また、監査にも対応可能なログのレポート作成、ログの高速検索・自動暗号化・長期保管を可能にする。



お問い合わせ先:インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398

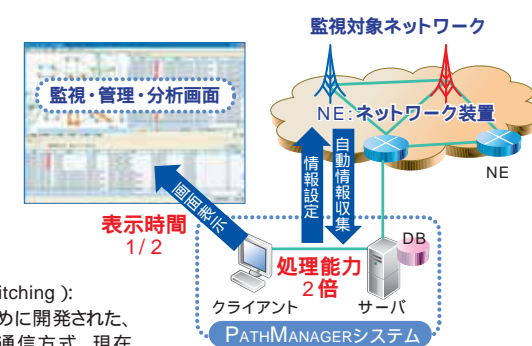
クラウド・スコープ・テクノロジーズ

PATHMANAGER Version4をリリース

クラウド・スコープ・テクノロジーズは3月、「PATHMANAGER Version4」の提供を開始した。

PATHMANAGERは、MPLSネットワークの管理・監視システムで国内最大シェアを誇る。ネットワークのコア網だけではなく、VLAN(Virtual Local Area Network)など、より端末に近いところまでその監視、管理の範囲を広げている。

「PATHMANAGER Version4」では、監視、管理対象が広がり、増えた処理量に対応するため、処理能力をおよそ2倍に向上した。これによりネットワーク機器から監視情報を取得して表示するまでの時間が約半分に短縮される。さらに、運用時の利便性を高めるためのさまざまな機能拡充を図っている。



MPLS(Multi Protocol Label Switching):データ転送を高速・大容量化するために開発された、ラベルを用いてパケットを転送する通信方式。現在インターネットで主流となっている。

お問い合わせ先:クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL:(03)3403-8321

インテック

『MCFrame Partner of the Year』4年連続6回目の受賞

インテックは5月28日、東京ドームホテルで開催された東洋ビジネスエンジニアリング主催の2009年度MCFrameパートナー総会にて、「MCFrame Partner of the Year 2009」を受賞した。この賞は、年間を通して最も優秀なビジネスパートナーに贈られるもので、2006年から4年連続、通算6回目の受賞となった。

インテックは2008年度MCFrameライセンス売上がビジネスパートナーの中でトップの成績であったことや、MCFrameに関する知識・テクニカルスキルを公式認定する制度(MCCP)の合格者数がパートナー中トップであったこと、新しい導入モデルの確立などが評価された。

MCFrameは豊富な標準機能と柔軟性や拡張性を併せ持ち、高品質で低コスト、かつ短期間でSCMシステムの導入を可能にする製造業向けの生産・販売統合フレームワーク。インテックは東洋ビジネスエンジニアリングのパートナーとして、製造業向けにMCFrameを用いたSCMシステムを構築しており、すでに35社を超えるお客さまへの導入実績がある。

お問い合わせ先:
インテック I-MCF事業推進部
TEL:(03)6665-9917



フラッシュニュース

インテック、アイ・ユー・ケイ
クレオと共催で人事担当者向けセミナー開催
(3月6日)

インテック
ニッセイ情報テクノロジーから感謝状
(3月12日)

エス・クルー
「ISO/IEC27001」の認証を取得
(4月3日)

インテック
ウイングアークWARP CLOMAX 2009で
New Partner of the Year(SVF部門)を受賞
(4月21日)

ネクスウェイ
ソフトウェア開発環境展(SODEC)に
「FNX e-帳票FAXサービス」を出展
(5月12日~14日)

インテック
情報セキュリティEXPOに
「結人」「東人」「快速サーチャーLogRevi」
「シンクライアントDC」などを出展
(5月13日~15日)

インテック

地域貢献で梨の木オーナーに

インテックは5月30日、社員とその家族約120名が参加して富山市で梨の摘果作業を行った。富山市呉羽地区は梨の産地として知られるが、高齢化により生産者が年々減少している。梨栽培の担い手が不足する中、インテックグループの親睦団体であるインテック計和会富山支部では、少しでも地域社会に貢献できたらと2005年より梨の栽培オーナーになっている。

今年は昨年より5本増やし、34本の梨の木を借り受けた。地域への貢献とともに、親子の共同作業や自然とふれあう体験は、家庭教育の一環になると考えている。8月には「収穫」、来年3月には枝を棚に結び付ける「棚結い」作業を行い、一年間を通じて成長のプロセスを楽しみながら梨を育てる。



大玉でおいしい梨になるように一番大きく、軸が長い実を残して、小さな実を切り落とす

ネクスウェイ

多店舗運営支援ポータル「店舗matic」がIE8.0に対応

「店舗matic」は、ネクスウェイが提供・販売を行う多店舗運営支援ポータルであり、ドリーム・アーツ(東京都渋谷区)が開発・運用している。5月、マイクロソフトの最新ブラウザ「Internet Explorer8」への対応が完了した。

「店舗matic」はSaaS型のソフトウェアで、ブラウザ上で動作するアプリケーションはバージョンアップに対応しなければそのメリットは享受できない。今回の対応で、大幅な表示速度の向上と、より安定した操作性を実現した。数ある機能の中でも特によく利用される「商売カレンダー」で1.4倍、「店舗アンケートフォーム」で2.2倍に表示速度が向上し、各店舗の情報処理のスピードをさらにアップさせることが可能となった。

「店舗matic」は、これからも、ご利用いただいているお客さまの声を反映し、より使いやすく進化を続けていく。

SaaS(Software as a Service):
お客さまの必要に応じて、ソフトウェアの機能を、ネットワークを通じてサービスとして提供する仕組み。

お問い合わせ先:
ネクスウェイ 企画部(広報担当) TEL:(03)4541-1602